

R3. 1月 6日(水)

No.14 文責 才市



2学期も見て見て授業として、学年やブロックで学ぶ機会を作っていただき、ありがとうございました。今回は、ひかり学級の自立活動と6年2組の国語の学習の様子をお伝えします。

見て見て授業

単元名 「自分で整理整頓ができるようになろう」
教材名 「整理整頓の仕方を考えよう」 ひかり学級 田村 教諭

めあて: 整理整頓の仕方考えよう ~めざせ、スッキリ名人~

整理することが苦手な子どもたちの実態から、自分自身でできることを増やすこと、今後につながる持続的な活動にすることを目標として授業を構想されていました。写真や4コマストーリーの拡大など、様々な視覚的資料が準備されていたので、子どもたちは、それらを見ながらしっかり考えて学習を進めていました。

ストーリーを見ながら、良い点と残念な点を見つけています



写真カードで意見を示し、考えを大切にしています



黒板左側に、学習の流れを示しています



事後研

〔田村先生より：整理整頓すると次の活動がしやすいことを実感させる授業を仕組んだ。整頓前と後の時間を測り、活動が早くなることを意識付けたいと考えた。進んで発表することが弱かった。〕

○学習の流れが示してあり、今の活動と次にどんな活動をするのか見通しを持って学習できていた。

写真や4コマストーリーなどの視覚資料を板書で示し、子どもたちの思考の手助けとなっていた。

▼ひかり学級として学習する機会がそれほど多くないからこそ、4人で点検したり、友達同士できていることを認め合ったりといった関わりを仕組むことが必要。

「整理整頓は苦手だけど、すぐにさっと取り出せたら気持ちいい。すっきりする。」ということを感じ取らせ、行動につなげていきたい。

見て見て授業

単元名 「町の未来をえがこう」
教材名 「町の幸福論」 6年2組 武田 教諭

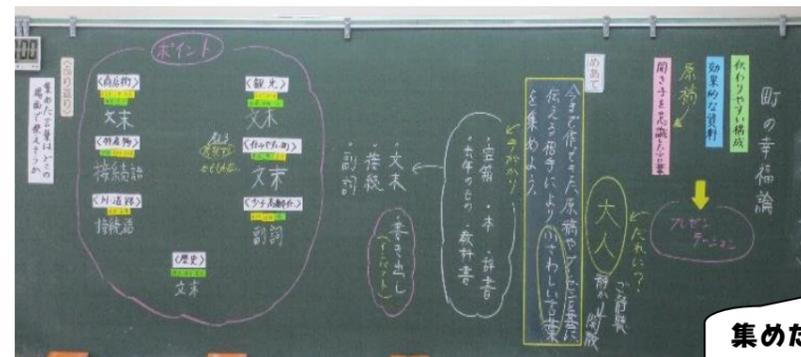
めあて

プレゼンテーションで使う言葉に着目して、大人向けの言葉を集めよう。



四万十市の未来について、自分たちの考えをプレゼンで提案するという目的を持って、総合的な学習の時間との関連も図りながら学習を進めていました。

「誰に向けて提案するのか?」「市役所・市長さん、商店街の人たち」全員で相手を確認し、そのために語彙を拡充する時間としていました。子どもたちは、テキスト(思考に関わる言葉)や「言葉の宝箱」、辞書などを参考にしながら、これまでに書いている発表原稿の文章をより伝わる言葉に書き換えていく姿を目指していました。



集めた語彙をホワイトボードに書いています



事後研

〔武田先生より：原稿が十分できていないまま、言葉を集める・選ぶ時間としてしまい、イメージがつかない子どももいた。本時のポイントを絞ることができなかった。〕

○自分たちで学習内容を計画して、見直しを持って進める本時としていたことが良い。

言葉にこだわりたいという授業者の考えが表れていた。

▼言葉を断片的に集めていて、自分の発表原稿をさらに磨いていくという目的が持てなかった。似た言葉だが、意味の違いを捉えさせ、伝えたいことに応じて言葉を選んでいく子どもの自覚化を図ることが必要ではないか。

代案 途中で言葉を変えさせ、前と後を比較することで、より伝わる・説得力が増す文章になることを実感させるのはどうか。

※提案したことが実現につながるプレゼンにつなげていきたい。

1時間で身に付けたい力の育成を目指して、めあてや学習内容・展開、振り返りの視点など、〇〇がいいのではないかと考え、授業を構想し、公開していただきありがとうございます。見て見て授業として、授業を公開していただくことで、実際の子どもの姿から、授業展開や発問、準備物、子どもたちへの言葉かけ、板書等々、授業づくりの様々な要素を学ぶことができます。

今後も学年やブロック、そして中村小全体で相互に学び合いながら、子どもたちの学習を支えていきたいと思います。